

1 本校の教育目標



2 経営方針 「生徒の未来に生きる学びのある学校」～学力と楽力の向上～

学校生活は将来の自分を支える経験を積み上げる時間である。学習活動や特別活動を中心に、学校生活全般において、子どもたちの将来に役立つことを学べることを意識する。特に学習では、生活の中から問題を見つけ、自ら解決していこうという問題解決的な意識を育て「本気」で取り組む石中生の学びの姿の創造をしていく。そのために、教職員は生徒が自ら伸びようとしていることに一緒に寄り添って、どのようにしたらできるかを共に考え、支援していく。

（１）学校教育目標（目ざす生徒の姿）が育つ学校教育の推進		
① 問題解決的な学習の推進	② 道徳や行事を通して「心」の成長	
③ 不登校の未然防止・体育の授業をはじめとした体育的行事の充実		
（２）保護者・地域と力を合わせ、ともに歩む学校		
① 基本的生活習慣の定着	② 安全安心な環境の整備	③ 地域や家庭との連携
（３）教職員が信頼される学校		
① 高め合う職場の環境	② 風通しのよい人間関係	③ 教職員としての自覚

3 本年度の重点努力目標

（１）学校教育目標（目ざす生徒像）が育つ学校づくりを目ざして

- ① 「本気で勉強する生徒」の育成（知）
 - ・ 「問題解決的な学習」を重視し、「深い学び」につながる授業づくりを実践する。
 - ・ 「わかる・できる」といった経験を大切にし、基礎的な知識・技能の定着を図る。
- ② 「本気で人と自然を愛する生徒」の育成（徳）
 - ・ 「命」「人権」「思いやり」の大切さを行事や学活、道徳の授業を通して学ぶ。
 - ・ 生徒会、委員会活動を通して、感動体験につながるしかけづくりをする。
- ③ 「本気で運動する生徒」の育成（体）
 - ・ 学年主任、生活サポート主任を中心に、不登校の未然防止に努める。
 - ・ 体育の授業や体育的行事を通し、健康な心身をつくる経験をする。

（２）保護者・地域とともに歩む学校づくりを目ざして

- ① 基本的生活習慣の定着（人間関係の基盤）
 - ・ 「あいさつ」「返事」「時間を守る」「整理・整頓」を軸に推進する。
 - ・ 行事や係、委員会活動を通して、自己の立場と責任を意識させ、達成感を体験させる。
 - ・ 不登校生徒に対して、生活サポート主任、学年主任を中心に学級担任とともに組織で対応する。
- ② 安全安心な環境の整備（安全意識の高揚、いじめの起きにくい集団）
 - ・ 校内環境整備、避難・防災訓練や登下校の指導を通して生徒と教職員がともに安全意識を高める。
 - ・ 健康観察を中心に生徒の表情や仕草に気を配り、いじめの起きにくい温かい集団をつくる。
- ③ 家庭や地域との連携（積極的な情報交換、地域教材の活用、ボランティア活動の推進）
 - ・ ホームページや各種通信を通して、学校の様子について積極的な情報提供に努める。
 - ・ 地域教材や地域人材を活用し、「地域で生徒を育てる」体制づくりを充実させる。

（３）教職員が信頼される学校づくりを目ざして

- ① 高め合う職場の環境（授業力・学級経営力向上へ向けた校内現研）
 - ・ 授業力や学級経営力についてOJTを機能させ、職員の力量向上のための環境づくりを推進する。
 - ・ 学ぶ楽しさを味わえる、問題解決的な授業づくりに向けた授業研究を行う。
- ② 風通しのよい人間関係（組織での対応）
 - ・ 些細なことでも報告・連絡・相談・確認の徹底を図る。
 - ・ 互いのよさを認め合う「ことばがけ」を意識し、問題発生時には組織で対応する。
- ③ 教職員としての自覚（教職員の意識の向上）
 - ・ 不祥事は絶対に起こさないように自覚するとともに、お互いに声かけをし、防止をする。
 - ・ 「バンドエイド一枚の対応」を大切にし、生徒や保護者との約束は必ず守ることを心がける。